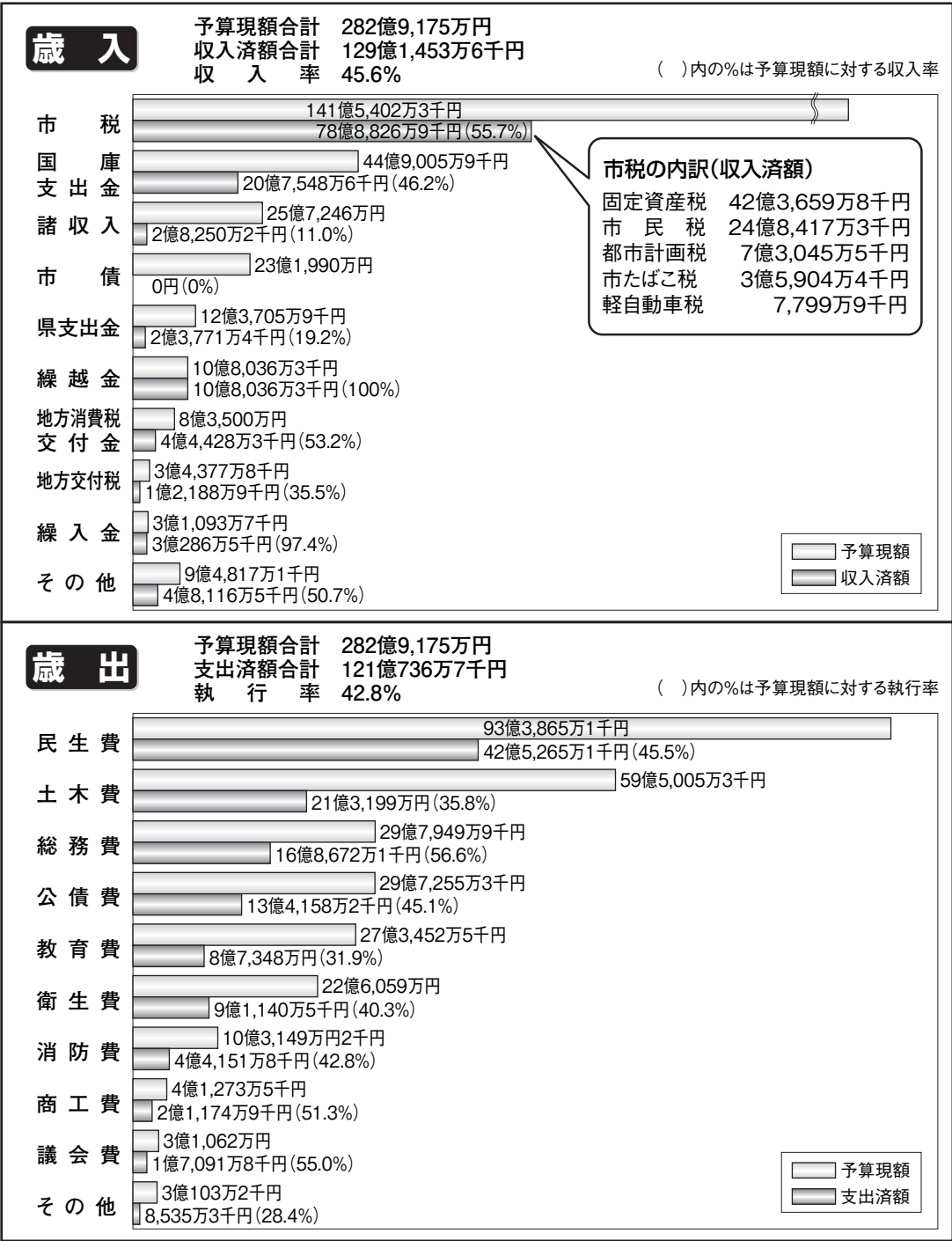


表1 一般会計の予算執行状況



どのくらいお金を使っているの？

一般会計の予算の執行状況は、表2は、表1のとおりです。また、特別会計および上下水道事業会

計の予算の執行状況は、表2のとおりです。

平成23年度上半期財政状況の公表

市では、毎年2回、上半期（4月～9月）と下半期（10月～3月）に分けて、財政状況を公表しています。これは、皆さんから税金として納めていただいた大切なお金などが、どのように使われているかをお知らせするものです。

今回は、平成23年9月30日現在の平成23年度上半期の一般会計、特別会計、上下水道事業会計の予算執行状況のほか、市の借入金（市債）の現在高などについてお知らせします。

問財政課 ☎306

●歳入：皆さんから納めていただいた市税を始め、国からの補助金・交付金（国庫支出金）や市の借入金（市債）などが大きな割合を占めています。

●歳出：児童、高齢者や障がいのある方などへの支援にかかる民生費、道路や排水路などの整備にかかる土木費などが大きな割合を占めています。

表3 市債の現在高

(単位:千円)		
一般会計	A	26,952,143
土木債		11,915,450
特例地方債(臨時財政対策債など)		9,528,619
教育債		3,083,094
民生債		743,678
その他の市債		1,681,302
特別会計	B	27,133,912
公共下水道事業		20,311,980
大瀬古新田土地区画整理事業		716,272
西袋上馬場土地区画整理事業		825,874
八潮南部東一体型特定土地区画整理事業		5,279,786
上下水道事業会計(企業会計)	C	3,097,728
合計(A+B+C)		57,183,783

市債は、長い年月利用する公共施設などを整備するため、一時的に多額の費用がかかるときに金融機関などから借り入れる資金です。整備したときの市民がすべて負担するのはなく、長期間にわたって分割して負担することにより、後に利用する市民も公平に負担するしくみになっています。

一般会計、特別会計および上下水道事業会計の市債現在高は、表3のとおりです。

〔一般会計の主な市債〕

一般会計の市債では、土木債、特例地方債、教育債が大

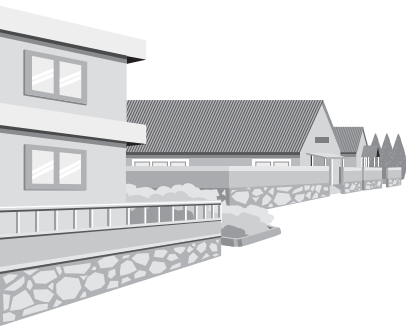
借入金(市債)はどのくらいあるの？

表2 特別会計および上下水道事業会計の予算執行状況(特別会計)

(単位:千円、%)			
区分	予算現額	収入済額 支出済額	収入率 執行率
国民健康保険	9,455,220	4,141,806 4,450,790	43.8 47.1
公共下水道事業	4,847,039	1,669,317 1,624,886	34.4 33.5
稲荷伊草第二土地区画整理事業	128,019	120,495 15,550	94.1 12.1
鶴ヶ曽根・二丁目土地区画整理事業	72,569	68,596 16,793	94.5 23.1
大瀬古新田土地区画整理事業	753,353	271,127 183,679	36.0 24.4
西袋上馬場土地区画整理事業	862,831	291,907 215,728	33.8 25.0
八潮南部東一体型特定土地区画整理事業	2,039,426	454,902 366,354	22.3 18.0
介護保険	3,849,399	1,627,130 1,409,928	42.3 36.6
後期高齢者医療	500,677	197,702 153,990	39.5 30.8

〔上下水道事業会計〕

(単位:千円、%)			
区分	予算額	収入額 支出額	収入率 執行率
収益的収入	1,871,464	926,114	49.5
収益的支出	1,751,751	810,699	46.3
資本的収入	624,689	125,633	20.1
資本的支出	1,251,582	417,771	33.4



大きな割合を占めています。

土木債：主なものは、道路、排水路の整備、区画整理事業やつくばエクスプレス建設のための出資金、貸付金の財源の一部として借り入れたものです。

特例地方債：近年の地方の財源不足を補うために特別に発行が認められ、借り入れたものです。

教育債：主なものは、エイトアリーナや学校体育館、図書館・公民館など教育施設の建設のために借り入れたものです。